

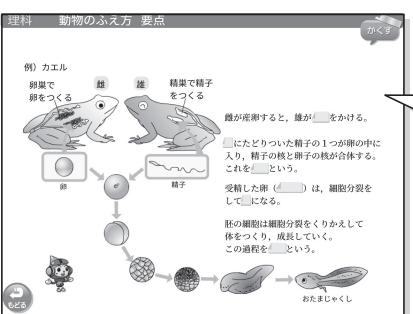
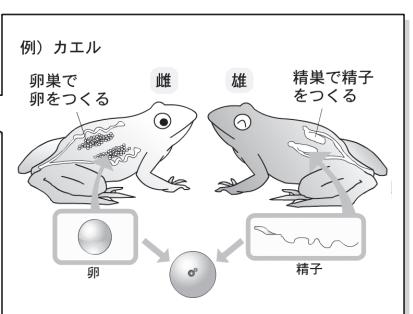
1. 学習項目

遺伝のしくみ (1h 計画)

2. 本時の目標

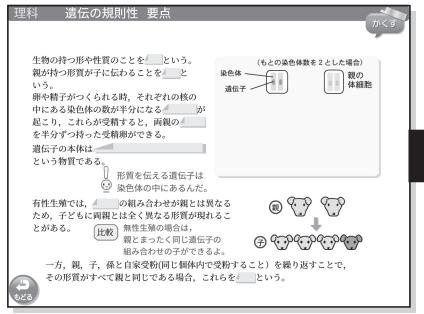
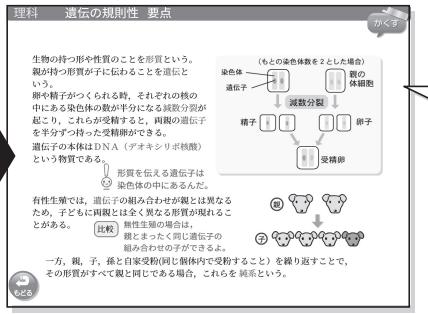
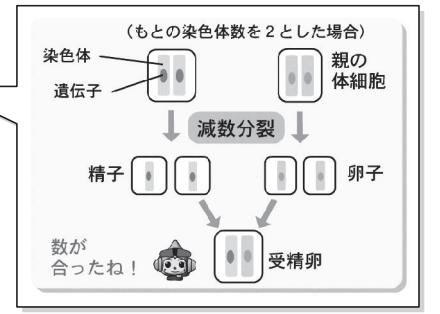
- ・生殖細胞が減数分裂を行う必要性に気づく。
- ・有性生殖では、遺伝子という情報をもつ染色体によって親の形質を受け継ぐことを理解する。

3. 本時の展開

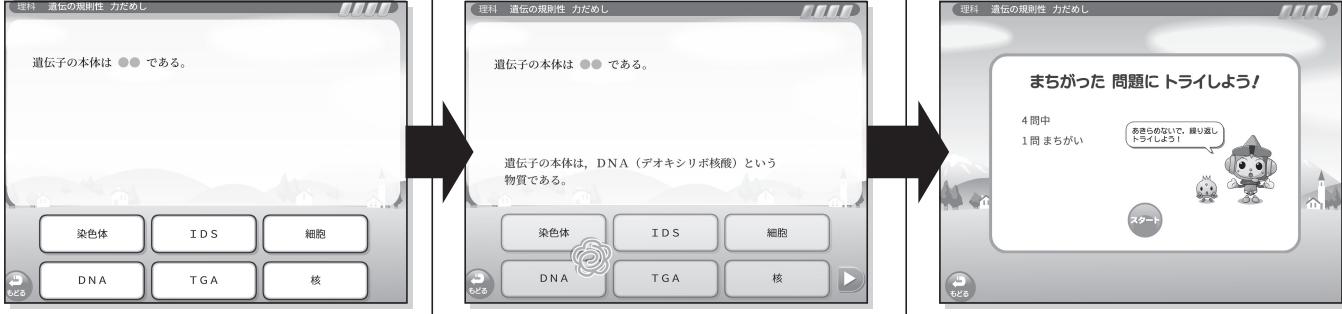
	学習内容と主な発問	学習活動	指導上の留意点
導入	<p>1. 生殖法の種類について復習する。 「生殖の方法には、大きく分けると何 となにがありましたか?」 「有性生殖の中でも、動物と植物で はしくみに少し違いがありましたね。」 「では、動物の場合の増え方を見て みましょう。」</p> <p>〈動物のふえ方〉要点</p>   <p>※ 余裕があれば〈種子植物のふえ方〉ページもあわせて見ると、動物と植物の有性生殖の違いを確認することができます。</p>	<p>「無性生殖と有性生殖です。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒から解答が出にくいようであれば、「雄と雌が関わるかどうか」が相違点であることをヒントとして出す。 ○ 動物は雄が精子を、雌が卵を作り、それぞれが結びつくことで新しい個体が発生することを簡単に確認させる。

【教科書対応表】※ この指導案は下記教科書に対応しています。ご参照ください。

出版社名	教科書名	区分 / タイトル
教育出版	自然の探究 中学校理科 3	単元4 2章 / 生物の殖え方 単元4 3章 / 遺伝の規則性
東京書籍	新しい科学 3	単元2 第2章 / 遺伝の規則性と遺伝子
学校図書	中学校 科学 3	B-5 第2章 / 生物の生殖と細胞 B-5 第3章 / 遺伝の規則性
啓林館	未来へひろがるサイエンス 3	「生命」生命の連續性 1章 / 生物の成長とふえ方 「生命」生命の連續性 2章 / 遺伝の規則性と遺伝子
大日本図書	理科の世界 3	単元2 1章 / 生物の成長とふえ方 単元2 2章 / 遺伝の規則性と遺伝子

	学習内容と主な発問	学習活動	指導上の留意点
展開 I	<p>3. 遺伝のしくみを知る。</p> <p>「生まれてくる親と子どもは同じ種類の生物になり、見かけ等が似ています。なぜでしょう？」</p> <p>「具体的に、そのしくみを見ていきましょう。」</p>	<p>「親の卵と精子に、性質の情報が入っているのだと思います。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の親・兄弟と、顔立ち等が似ていることに着目させるとよい。 ○ 生物のからだの特徴となる形や性質=「形質」、親の持つ形質が子に伝わること=「遺伝」、形質を決める因子=「遺伝子」等、重要な用語の意味を押さえるようにする。
	<p>＜遺伝の規則性＞要点</p>  <p>生物の持つ形や性質のことを形質といいます。親が持つ形質が子に伝わることを遺伝といいます。卵や精子がくられる時、それぞれの核の中にある染色体の数が半分になるのが起こり、これらが受精すると、両親の遺伝情報を半分ずつ持った受精卵ができる。遺伝子の本性は、形質を伝える遺伝子は染色体の中にいるんだ。</p> <p>有性生殖では、①の組み合せが親とは異なるため、子どもに両親とは全く異なる形質が現れることがある。 比較 無性生殖の場合は、親とまったく同じ遺伝子の組み合わせの子ができるよ。</p> <p>一方、親、孫、子、孫と自家受粉同じ個体内で受粉することを繰り返すことで、その形質がすべて親と同じである場合、これらを②という。</p>	<p>理科 遺伝の規則性 要点 (次の画面)</p>  <p>生物の持つ形や性質のことを形質といいます。親が持つ形質が子に伝わることを遺伝といいます。卵や精子がくられる時、それぞれの核の中にある染色体の数が半分になるのが減数分裂が起こり、これらが受精すると、両親の遺伝子を半分ずつ持った受精卵ができる。遺伝子の本性はDNA（デオキシリボ核酸）という物質である。</p> <p>形質を伝える遺伝子は染色体の中にいるんだ。</p> <p>有性生殖では、親における組み合せが親とは異なるため、子どもに両親とは全く異なる形質が現れることがある。 比較 無性生殖の場合は、親とまったく同じ遺伝子の組み合せの子ができるよ。</p> <p>一方、親、孫、子、孫と自家受粉同じ個体内で受粉することを繰り返すことで、その形質がすべて親と同じである場合、これらを純系という。</p>	 <p>(もとの染色体数を2とした場合)</p> <p>親の体細胞の染色体と遺伝子が、減数分裂によって精子と卵子へと分けられ、受精卵へと結合する過程を示す図。</p> <p>精子と卵子は、親の体細胞の染色体と遺伝子を半分ずつ持つ受精卵を作ります。</p>

memo

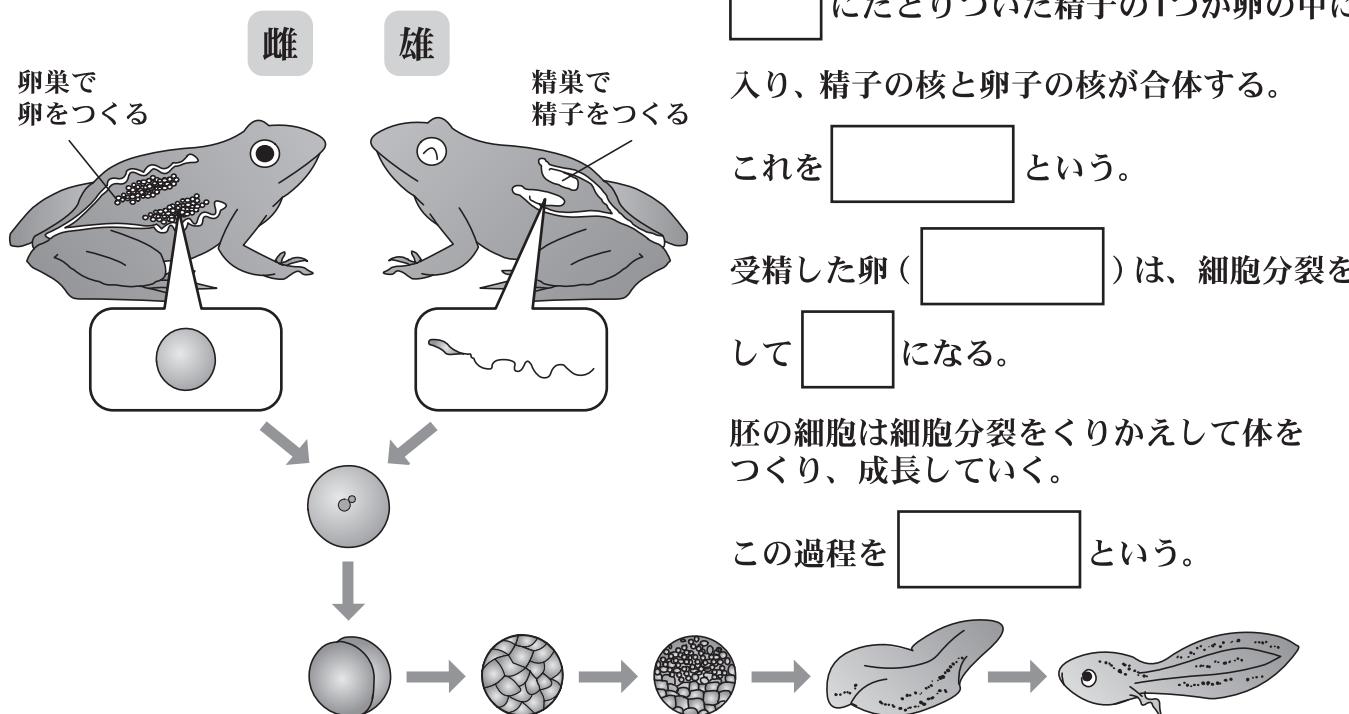
	学習内容と主な発問	学習活動	指導上の留意点
展開Ⅱ	<p>3. 練習問題で力だめしをする。 「それでは、今までに学習した内容を復習してみましょう。」</p> <p>＜遺伝の規則性＞力だめし</p>  <p>※ 出題の最後には、結果発表が出ます。スタートボタンをクリックすると、間違えた問題に再チャレンジすることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各自、パソコンで、力だめしに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> パソコン教室等で各自問題に取り組むことが困難な場合は、教師が問題を提示する形式を取り、全員で一緒に問題に取り組む。 時間に余裕があれば、く動物のふえ方＞の力だめしに取り組む。
まとめ	<p>4. 学習のまとめ 「本日の学習を通して分かったことをまとめましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物の細胞は、核内の染色体に遺伝子をふくんでおり、遺伝子は形質を子孫に伝える。 生殖細胞は、分裂する際、その染色体の数を半減させる。 (減数分裂) 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習のポイントをノートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の要点・重要な用語をおさえる。

memo

組 番 名前

動物のふえ方

例)カエル

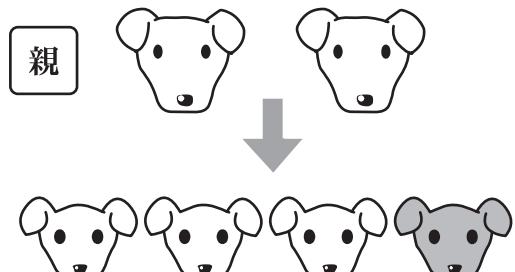
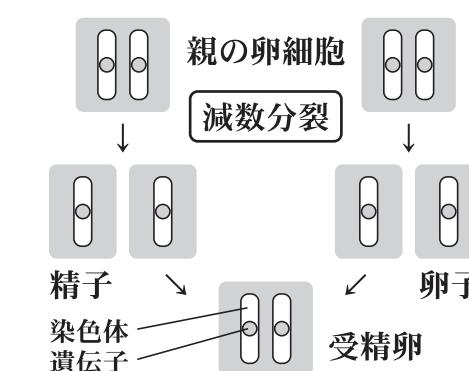
**遺伝の規則性**生物の持つ形や性質のことを という。親が持つ形質が子に伝わることを という。

卵や精子がつくられる時、それぞれ核の中にある

染色体の数が半分になる が起こる。これらが受精すると、両親の を半分ずつ持った受精卵ができる。有性生殖では、 の組み合わせが親とは

異なるため、子どもに両親とは全く異なる形質が現れることもある。

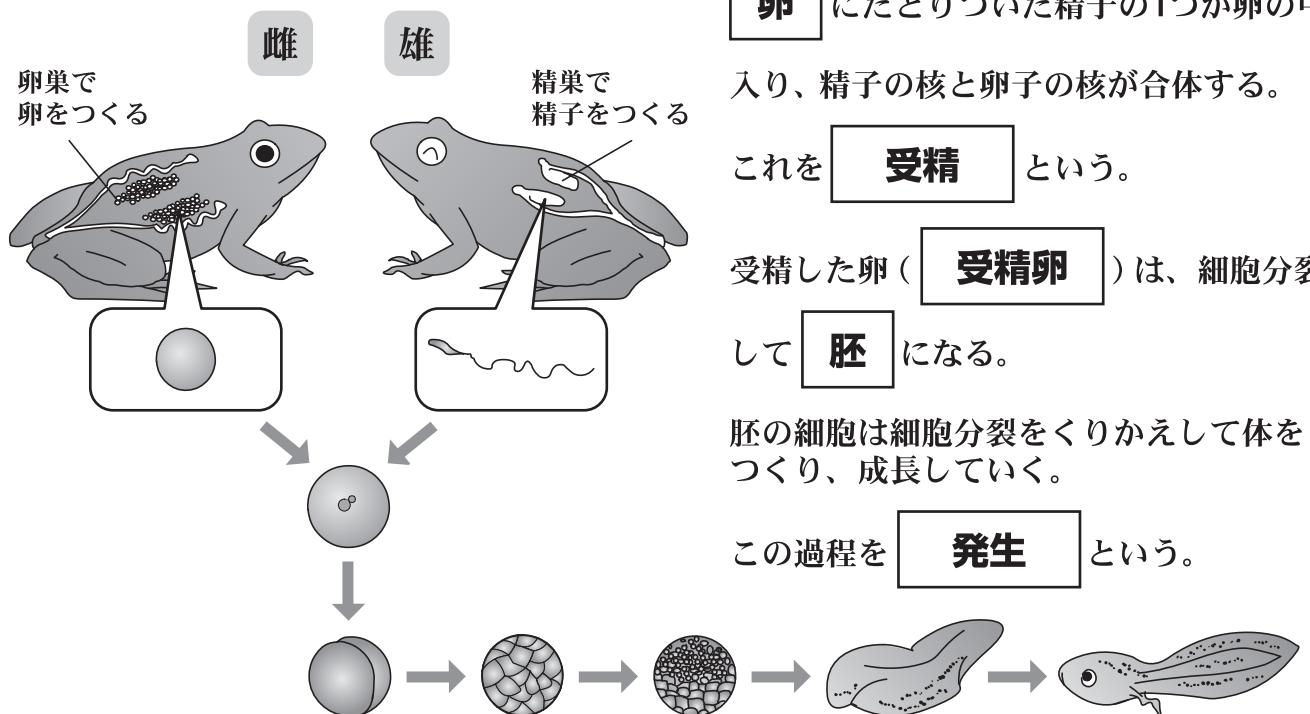
(もとの染色体を2とした場合)



組 番 名前

動物のふえ方

例)カエル

**遺伝の規則性**生物の持つ形や性質のことを**形質**という。親が持つ形質が子に伝わることを**遺伝**という。

卵や精子がつくられる時、それぞれ核の中にある

染色体の数が半分になる**減数分裂**が起こる。これらが受精すると、両親の**遺伝子**を半分ずつ持った受精卵ができる。有性生殖では、**遺伝子**の組み合わせが親とは

異なるため、子どもに両親とは全く異なる形質が現れることもある。

(もとの染色体を2とした場合)

